

浅野の豊かな自然を明日につなぐ！



浅野区は市川町の真ん中に位置し、人口 125 名、戸数 41 戸の町内最先端の少子高齢化地区です。耕作面積 14ha のすべてをため池で賄っており祖先からの貴重な財産として守ってきました。ため池の役割は農業用水と消火用水から治水、景観、在来動植物と共存できる自然環境の保全へとその存在は重要度を増しており、自然豊かな当地区の根源となるため池を活かし、美味しい米づくりとその後継者づくりを目指しています。

平成 19 年度に農地・水保全活動に取り組み始め、農地・農業施設の保全活動から鳥獣被害対策、景観形成、26 年度からは多面的機能支払交付金制度の長寿命化にも取り組んでいます。活動メンバーも当初の役員主体から全戸の出役可能者へと広がっています。

将来を見据え、次世代の女性・子供を対象に豊かな自然とその恵みをため池で感じてもらうイベントも開催しています。

基礎活動



施設点検と機能診断



草刈り

全会員出作の草刈り



鹿柵の定期点検・補修

年 4 回実施



桜の植樹

ため池周囲に桜を植樹

農村環境保全活動



花の植え替え

年 2 回、区内道路沿いの花の植え替えを実施



ため池池干し

外来種はライギョ 2 尾だけ



野草観察会

65 歳未満の女性のイベント

将来の夢・展望

当地区は高度成長時代には、何も無い田舎のイメージが強く農業も兼業農家で米作りを代々継いできましたが、多くの農家の長男が出てしまい、その後は各地の過疎地と同じ状況です。

この制度を活用し、今後、農業後継者づくりを始め、地区を活性化させるためには Uターンと女性の活躍に期待を込めています。浅野区には農業施設のため池と田んぼとその周辺は昔と変わらず豊かな自然環境があり、将来はもっともっと誇りを持てる「ふるさと浅野」になるようにしたいです。

この自然環境を住民に再認識してもらい「わがふるさと浅野」を感じて 2 世代から 3 世代、4 世代が暮らせる地区を目指しています。

【施策として】 1. ため池の保守管理と活用：防災、営農、景観、池干しイベント

2. 女性の会発足：婦人会の生まれ変わりとして民主的で活動的な団体づくり